国際スポーツ大会のことだ。 してデフリンピックがある。 ンピック、パラリンピック、知 現在国際スポーツ大会はオリ 人・きこえにくい人のための SD) が主催する、きこえな ろう者スポーツ委員会(IC シャルオリンピックス、そ2障害のある人たちによるス デフリンピックとは、



あうるすぽっとで展示されていた デフリンピックについての説明

年の東京大会で100周年と年に1度開催されており、今に仏のパリで始まってから4 ではなく旗でも行われる。 ション、審判の合図は笛だけ手話言語通訳でコミュニケー 覚による情報保障が特徴で、 トランプや旗などを使った視 なる。国際手話のほか、スター ンピックが1921年 判の合図は

手で、 どを外した状態で、 うあ連盟 参照:一般財団法人 全日本る シベルが大きいほど音が大きえない程度)を超えており(デ 営委員会HP 1番小さな音が55 ている人が参加できる。 (ふつうの声での会話がき) 協会」に登録されている習 、記録·出 ンピックには①補聴器 ②各国の「ろう者スポ デフリンピ 場条件を満た デシベ 聞こえ

2025デフリンピック 法人としま未来文化財

最後に亀澤選手(右)、長谷山選手(左)と記念撮影!

れる国 話とは、 際手話ワークショップ」が 際手話だ。同士での会話を助けるのが が異なる。そのため、異なる国 生活にもとづ である野添亘さんは、前 の東京都聴覚障害者連盟役員 プは、デフリンピックで使わ 者・中級レベルの人向け 会議室Bで日 ことが多く、 リンピックの 訳として参加された。国際手 催された。このワー ブラジル大会でも国際手話通 もらうために いる手話方 際手話に関心を持って 世界ろう連盟やデフ 各言語で表し方 法。手話は日 開 いて表現される 公用語に使わ 本手話の かれた。講 -クショッ

各国の手話を 回の 野 す」と手話で話してくれた。 来て、 ただいた になります。だから東京大会 かってもらえる良いきっかけ とになるだろうと話す。「手 で手話での会話が行 ことで世界中から様々な人が 添さんは錦城生にも「ぜひデ がろう者の言葉だと社会に しを探してほしいです」 フリンピックを応援して、 た。 手 ピックが東京で開催される セージをくれた。 開催され 野添さんにお話しをうか つまりいろいろなところ ークショップの それによって「手話の世 ,話で取材に応じて 野添さん るの が楽しみで は、デフリ こわれるこ 野 わ

講演では、大会への意気込みなどを両

選手が語ってくれたので、紹介する。

島区立舞台芸術交流センタ区の施設「あうるすぽっと[豊 たイベントをお届けする。 リンピック特集を組んだ。今回は第1弾として夏休みに行われ フリンピックや手話について知ってもらおうと、本号ではデフ 字で手話部 この夏、数日にわたり、豊島 ワークショップで国際手話にチャレンジ! 今年 O11 に 所属して 東京でデフリンピ 画「みんなのデフリンピック」 ップ&デフアスリー 上映会&国際手話ワークショ 1 た編集部員 ックが行 の呼びかけ わ れる。 (編集部共同取材) で、

部は8月23日 トに参加した。 国際手話とは何だろう?

-]」で「みんなで応援!東京

ク」が開かれた。主催する公益

団

午前には、

あうるすぽっ

0 初

国際手話講師が語る手

だけたので、新聞委員会編集 さんに快く取材の許可をいた (土) のイベン

会が行わ

対談は

序の決まりがない。そのため を並べて表すため、明確な順 H がないこと。国際手話は単語 H 国際手話の一番の Ļ も会話の手段として覚えて 話が出来ない人は んは、「ろう者の中にも国際手 表現はしないそうだ。 Sign と表して「言語」 日本手話は英語で Japanese を締めくくった。 能なものではなく、 Sign Language と表すのに対 いです」とワーク 国際手話は 番の違 International 4) いるので万 あくま ショッ いは文 本手話と として 野添さ

れた。

選手2人が話す形で行

錦城生にデ

編集部の

中

語 法

手話で行

声

通訳をし、

東

井口 文章 第498号 印刷・発行

錦城高等学校新聞委員会 編集室 2025

みんなでつくる

錦城高校新聞

|面:デフ陸上金メダリストに直接インタビ 面 **デフスポーツを身近に感じる夏** デフリンピックを応援しに行こう! **豈島区イベントで国際手話を学ぶ**

トーク

長谷山優美選手 が開 デフスポーツの魅力に迫る 催された。 日午後はト 時間になると ークイベン (女子デフバ

イベントに参加 選手 気で、 0 い思いを聞く

手話と筆談で取材に応じ

和 やかな てくださった野添さん ・パワー・オト達を応援しよる

語 手を、両手を顔の手前で振る とと (デフ卓球) があたたかい拍と (デフ卓球) があたたかい拍 者連盟会長の粟野達人さん った。対談は手話通訳士が音 講演後に写真撮影やサイン ったことが印象的だ ル)と亀澤史憲選手 京都聴覚障害 参加者の きで違いがあり面白かったで 思って 比べてジェスチャーに近い動 存在に感じること す」「手話でのインタビュー が楽しみです」と語った。 た。もっと手話の勉強をした ごくおもしろかったです。 フリンピックのボランティア 何うと、 である板倉裕一さんに感想を た本イベント。 ル」もみんなで練習した。ぜ れた見える応援「サインエ い」という声が上がった。イベ 「今回の対談、イベントはす トでは手話をベースに作ら 取材に参加した編集委員 リンピックが開 動を行って インエールでデフアスリ 「国際手話は日 いた以上に大変で パラリンピックやデ 笑顔とともに終了 選手たちを身近な いるという方 催されるの 般の参加 ができた。 1本手話に

亀澤選手「デフスポーツを発展させたい」

人たちに恩返しがしたいです」と東京大会に向けて意気込んだ。

投足も見逃せない。長谷山選手は、試合の見どころを攻撃の多様性

中学から卓球を始めたそうで、2021年のブラジル大会では男子 本代表。 〈ダルを獲得。デフ卓球も通常の卓球とルールは同じだが、特徴的 ▮

-ムで決めているサインを使い攻撃を仕掛けるため、

フルさ・豊かな表情だと語る。目指すは金メダル獲得で「支えてくれた...

あうるすぽっと提供 なのは補聴器の着用が禁止されているところ。相手の攻撃は音で はなくボールのマークや回転量で判断し、攻撃面では振動やフェイントを使い選手それぞれの技を繰り出すそう だ。普段はライバルである人たちがチームとなって共に戦う団体戦や、国による手話の違いやコ 方法が見どころだという。目標はメダルを獲ることと、デフスポーツ全体が発展することだと意気込む 「デフリンピックだけではなく、聴覚障害者全体に対しての理解がより深まるといいです」と話してくれた。チーム メンバーについて「僕以外の3人ははっきり言うと問題児でまとめるのが大変です」と亀澤選手が笑いを誘うな ど、仲の良さが垣間見える話を。デフリンピックをまだ知らない人に伝えたいこととして、デフアスートを応援する ことが共生社会の実現につながることを挙げてくれた。 (綿)

参考にして作られている。

から知る素顔

2017年のサムスン大会で金メダルを獲得した長谷山選手が出場する種目は、女子デフバレーボール。長谷山選手

はもともと野球をやりたかったが、ろう学校で4つしか部活がない中、先輩に誘われてバレー部に入部したそう。デフバレ

ーボールは通常のバレーボールと競技ルールは同じだが、審判が笛を鳴らすのではなくネットを揺らしたり、チーム内で「

長谷山選手「金メダルを獲得して、恩返しがしたいです」

|際手話は、

の時は

ったため と契約してい ルに惑わされそうになったことがある。私は、ソフトバンク とは違うメールアドレスで送られてきたことがあった▼そ で火災」「動物園からライオンが放たれた」「富士山の大噴火 を書くにあたっても気を引き締めていきたいと思う。 月、当時 20歳の男性を偽計業務妨害の疑いで逮捕した。本市動植物園の業務を妨害したとして、県警は2016 が起こる」などの流言があったらしい。このうち、 記事)▼他にも2016年の熊本地震では、 12日配信記事)▼実は私も、スマホに送られてきた迷惑メー は問題だと思う(朝日新聞WEBニュース2025年1月 に起訴猶予となったが、やはりSNSとはいえ誤情報の流布 っくことができたが、危うくリンクをクリックするところだ SNSなどの情報はちゃんと冷静に判断しなければな 6年までに計1件の流言飛語を把握したそうだ。「モール (現X) に「ライオンが放たれた」とウソの投稿をして熊 いたらしい。例えば、実在しない也名を挙げて女りは、能登地震を巡り、SNS上で偽情報が拡散されたとは、能登地震の時にSNSで偽情報が拡散されたという話▼地震を巡り、SNS上で偽情報が拡散されたとの 災グッズの購入などを話した。そこで思い出したの のい最近、家族で地震について話題が上がり、防 さらに、 偶然、疑問に思ったため親に相談し迷惑メールだと気 びかけた(読売新聞オンライン2024年1月3日) よく気を付けなけ を求めたり、原因を「人工地震」と書き込んだり どがあったそうだ。当時の岸田首相は記者会見で、 悪質な虚偽情報の流布は許されない」と述べて注 るのだがソフトバンクを名乗るメールが、普段 自分からも間違った発信をしないよう、 ればと改めて思う機会となった 熊本県警が20 ツイッタ のち 年 7 信 な

廃油 を回収



実際に設置されて いた廃油回収

東京2025世界陸上と東京2025デフリンピックの開催にあわせ、東京都が家 て飛行機を飛ばすキャンペーンを行っている。小平市でも 令和7年5月2日(金)~10月31日(金)までの半年間、廃食油の回収キャンペーンを 市役所や中央公民館などで行っているので、話を伺った。

お話を伺ったのは小平市のリサイクルセンターの職員の方々。このキャンペーンで 回収できる油の種類は、植物性の食用油で、鉱物性・動物性油は回収できない。もと もと小平市のリサイクルセンターでは、油の常時回収を令和元年度から行っていて、 年間約600~700 Lの油を回収している。回収油は業者によって精製され、床暖房の燃

料として利用されているとのこと。油の再利用は、バイオディーゼルやインクに 加え、近年ではSAF(サフ・持続可能な航空燃料)へリサイクルすることも可能 となってきている。そのため、環境への配慮もできるようになってきた。小平市 では今回の陸上・デフリンピック関連キャンペーンで油の回収量を増やすため、 新たに回収箇所を増やしている。都が備品を用意したため、油の回収もペットボ トルに入れた状態のままで可能になった。それによって、回収を行える市内施設

お話しをしてくれた2人

を市役所や中央公民館など24箇所も増やすことができた。 今回お話を伺った小平市リサイクルセンターの担当の方は、「家庭からの廃食油は大半が廃棄されている状 況のため、そのような油を回収できるようにしたい」と語る。様々なものがリサイクルできるようになった が、「最も大事なことはごみを出さないようにすること(リデュース)です」と述べた。

ただし、今回のキャンペーンで新たに追加された場所については、10月31日以降の回収予定は未定とのこ と。11 月以降も、継続するかは回収実績や施設管理上の課題等を整理してから判断するため、現時点では未 定であると教えてくれた (7月取材時点での情報です)

デフリンピックに抱く期待

編集部全落 開会

小金井市役所の前に設 置されていた特別展示

技場で 17日 ピック公園総合運 する陸上競技は、駒沢オリ でお会いした山田選手が出場例えば小金井市のイベント 火)にかけて行われる。 選 15 (月) から25 日に東京体 運動場陸上:

涙の落選をしてしまった。 館で行われる開会式に参加し ようと、 編集部員に一声かけてくださ ひ開会式の様子を取 しかし、高倍率のため、全員が いただきたい したという猛者がい もし お願い 11月の開会式に当 編集部員全員で応募。 れば、 編集室や 材させ

にどうすればみんな平等にスー る陸上競技は「スタートの時ー 山田選手は、デフ選手もい 委員長も指名されました!

田選手 指名さ トボー 光るとかですか?」と回答。 います」と教えてくれ デフリンピ

を取材した記者は、「絶

と話してくれた。今回

の講演

見に行きます」と宣言してい 田選手の出場する陸上競技を

んなも山

田

るのが楽しみになりました」

回っている) キャラバンが来|

ピック周知イベントで全国を

わかって良い講座だったと思

デフリンピックのことがよく

すると、「面白かったし、

います。

小金井市に (デフリン

会が終わるころには慰められ うだ。山田選手は「大会が始ま る側になっていました。こう る前は慰める側だったのに大 国際大会の魅力の一つ国を超えた交流が出来 イズでは、取材中の委員長が 教えてくれた。また、バスケッ トの合図にして かですか?」と回答。山れ「コートのこの辺が ルの工夫についてのク は「ゴールの周りを光 います」

るのも国際大会の魅力

と振り返っ

した、

走ろう」と連絡してくれたそ ため棄権・帰国となったが、ウ 大会、日本チームはコロナの喜んだという。そのブラジル とができ、互いに抱き合って 渡航費を支援して、無事ブラ はクラウドファンディングで ジル大会でその選手と会うこ 緒に

クライナ選手が「また一

チーム棄権となったことに触ル大会ではコロナのため日本

のうち1つでも金メダルを

今年は出場する4つの競

「silent」(フジテレビ)

に合わせて光らせる、などのに装置を置いてスタートの時 場を盛り上げながら「実際に 意見が挙がり、山田選手は会 に合わせて旗を上げる、足元 か?」と参加者に問いかけた。タート出来ると思います ピストルの音 を知る機会が増えたとは思う 手。ドラマなどでろう者の話 応対してくださった山 ます」と山田選手はメッセー しんでもらえたらいいと思い うことは当たり前。耳がきこ もと違う感じがします。 ろうと語る。 るということは が、身近に聞こえない人がい どん質問していいよ、 ビューに応じてくれた。 講演後、山田選手がイ えないという異なる文化を楽 ら左右の聞こえ方が違うと 耳をふさいで音を聞くとい ジをくれた。 講演後に参加者にインタビ しかし、「片方の あまりないだ インタ

デフスポーツの工夫について山田選手に指名されて答える委員長

ックは今までの海外大会より

いところで見てもらえる

国際大会の魅力

2017トル

2022ブラジ コ大会では金

東京 2025 デフリンピック

ボウリング(東大和グランドボウル)や卓球(東京体育館)、バドミントン(京王アリーナ TOKYO)、オリエンテーリング(日比谷公園)など錦城近くで行われます!※射撃は非公開 各競技は予約なし、無料で誰でも見ることができるので、ぜひ応援しに行きましょう!

大会 HP はコチラつ デファスリートを身近に感じよう! https://www.deaflympics2025.com/

手話を覚えよう!⑥

応援

★今回、手話を実演して下さったのは、体育科の山崎隆宏先生。第6弾で紹介するのは、サインエールの 一つの手話で「頑張れ」という意味。開いた両手で顔を挟むように縦に位置し、きらきらさせた後、力を 込めて両手を前に出す、というもの。ぜひ実際にデフリンピックを応援するときに、使ってみてほしい。



(新聞委員会の「手話を覚えよ う! について) 良い取り組みだと 思うよ。この機会に生徒の皆にデフ リンピックを知って興味を持って もらえたらいいな。 (山崎先生)

連盟会長の粟野達人さんとデ ク」を知ろう』が開催された。 関連イベント『「デフリンピッ 会議室にて、デフリンピック る小金井市役所第二庁舎8階 から歩いて5分のところに 者に話をしてくれた。 会場では、東京都聴覚障害者 く利用するJR武蔵小金井駅 解説された。 フリンピックについて簡単に とは耳の聞こえない人の参加 /陸上の山| まず始めに、 8月24日(日)、錦城生も多 、超満員の30人以上の 田真樹選手が登壇 デフリンピック 粟野会長がデ 参加

あり命であることを知っても一ない人にとって手話が言語でフリンピックが、耳の聞こえ、 日 ある東京経済大学卒業で、今真樹選手の講演。国分寺市に は語る。 うと期待を寄せた。 らう良いきっかけになるだろ 続いてデフ陸上選手の 粟野会長は東京2025デ のイベントにも縁がありま

うかと問 山田選手と兄とは指文字で、 語で、山田選手と母は手話で、 両親は英語で、父と兄は日本 家族で、両親と兄は聞こえる。 田家はどんな家族構成でしょ によると、 母と日 初めに参加者に手話で、 と話し始めた山田選 いかけた。山田選手 本人の父と兄の四人 家族はイギリス人

目。パラリンピックよりも長回行われており、今回で25回する国際大会で、これまで24 なると思います」と粟野会長 友達に見てもらう良い機会に い歴史がある。「今回初めて日 本で開催されるため、家族や ンピックよりも長ねり、今回で 25回会で、これまで 24

デフリンピックの

行われたイベント をお届けする。 われて いる。 編集部はこの夏、

『「デフリンピック」を知ろう』を取材した 小金井市役所で

なイベントが行 東京2025デフリンピックは日本初開催。全国各地で様々 なる文化を楽しんでもらえたら

田選手

そうだ。そのため、全員が耳

トルコ大会で金メダルを獲得 したとき、2位だったウクラ

参加者からは、

田選手は2017年の 選手は

意気込

聞こえない家に遊びにいっ

全員に話が伝わることはない とバラバラの会話で、

発で

たときに手話だけで会話がで

うだ。「次のデフリンピックで

イナの選手と仲良くなったそ

ョックを受けたこともあった きていたことにカルチャーシ

いう。そういう家族だから

回の東京デフリンピ

場が危うくなった。山田選手の紛争でウクライナ選手の出

に帰ったが、2022年から また会おう」と約束して日本

リンピックの準備・運営を担う組織の-デフリンピック運営委員会事務局長の倉野直紀さん に、お話しを伺えた。8月8日、早稲田駅から近い連盟事務局を訪問 し、大会の意義などを聞いた。

日本初開催の意義

当日は手話通訳士の方に同席していただき倉野さんは手話で応じ

ある意味外国人と同じバリ 音声コミュニケ さらにろう者だということは外見では分かりづらいこともあり

ピックが開催されたことがなかったが、2014年の東京 2020オリンピック開催決定から開催を望む 声がさらに高まった。国や都とも協力して苦労して準備を重ねて、国際ろう者スポーツ委員会に 承認されたそうだ。3つ目は共生社会の実現だ。デフリンピックは聞こえる人と聞こえない人が 協力して運営される。「それは共生社会の1つの形です」と倉野さんは考える。 会を作るきっかけにしたいそうだ。

東京大会の楽しみ方

東京大会では、陸上やバスケットボール、ボーリングやオリエンテーリングなど21競技が行 倉野さんは「自分の好きな競技、知っている競技に行くのが一番いいですよ」 楽しみ方をアドバイスしてくれた。デフリンピックの競技中は、補聴器などを外す決まりのため、 音での合図をすることが出来ない。そのため陸上競技では、スタートをランプの色で合図をする。

イコンタクト、チーム独自のサインで指示を出すそうだ。 デフリンピックならではの工夫を見ながら観戦すると、 より面白くなるはずですと倉野さんは語る。

また、今回の東京大会に合わせてデフアスリートを応 援するための「サインエール」というものが作られた。「行 け!」「大丈夫 勝つ」などの意味を短く、手話や身振り 手振りをベースに表現したもので、簡単に覚えることが 出来る。デフアスリートを応援するときは、声援では伝わ

手話で「デフリンピック」

らない。しかし手話を一から覚えるのは大変なため身近に感じてもらいにくい。そのためにサイ ンエールは作られた。倉野さんは、デフアスリートの方もうれしいのではないかと話す。

倉野さんは、小中高全てを通常学級の学校に通っていた。小学生のときからバレーボールをや っていたが、声掛けが聞こえず限界を感じて中学でやめてしまった。その時は誰もデフリンピッ クやデフバレーのことを教えてくれなかったそうだ。「自分も含めて、おそらく皆知らなかった のだと思います。知っていれば、高校でも続けてデフリンピックを目指していたと思います」と 振り返る倉野さん。倉野さんのように耳がきこえない子どもでも、ろう学校ではない学校に行く 選択をする人が多いので「もし身近にろう者の方がいたら、デフスポーツについて教えてあげて ほしいです」と語る。そして、錦城生にむけても「耳がきこえなくてもいろいろなことに挑戦し ている人はたくさんいるので、高校生の皆さんにももっと夢を持ってほしいですね」とメッセー ジをくれた。